

草津市市制60周年関連事業子ども議会  
会議録

平成26年10月18日

草津市議会

草津市市制60周年関連事業子ども議会会議録目次

会議録（10月18日 開会） （第1日）

1 . 議事日程	1
1 . 会議に付議した事件	1
1 . 出欠席議員の番号氏名	1
1 . 説明のため出席した者の職氏名	2
1 . 開 会	3
1 . 日程第 1 . 会議録署名議員の指名	4
1 . 日程第 2 . 会期の決定	4
1 . 日程第 3 . 一般質問	
奥村 究議員	
みんながいきいきとなるような特色のある学校の取り組み について	4
三崎輝史議員	
電子黒板の導入について	6
小林 蒼議員	
子どもが遊ぶことのできる自然のある環境づくりについて...	7
遠田はな議員	
ごみのポイ捨てについて	8
梶井哉幸議員	
木や植物の大切さについて	10
朝雛順正議員	
ごみの減量について	11
木下花恵那議員	
ごみのポイ捨てについて	12
今井愛音議員	
通学路の道幅と街灯について	13
山形礼佳議員	
電線について	15
林 祐央議員	
児童登校時の車の通行禁止について	16

我孫子和議員		
みんなのいこいの場となるような草津川跡地の利用について	.....	1 7
日比公大議員		
みんなが自由に遊べる公園を造って外で遊ぶ子の数を増やそう	.....	1 8
北川想太議員		
町に公園の数を多くすることについて	.....	1 9
内山大翔議員		
運動場の芝生化について	.....	2 1
西出芽生議員		
小中高生の交流イベントについて	.....	2 2
中高生を先生とした授業について	.....	2 2
白井陽菜議員		
あいさつ運動について	.....	2 3
溝口茉佑議員		
市内の川の整備について	.....	2 4
自然とふれあえる場所について	.....	2 4
芝田 智議員		
河川をきれいにする提案について	.....	2 6
西山愛華議員		
びわ湖の環境について	.....	2 7
岡田悠一郎議員		
びわ湖につながる川にホタルがすめるほどみんなで自然を大切にしよう	.....	2 8
松永咲穂議員		
水について	.....	2 9
中村真悠議員		
みんなでつくろう安全安心なまち草津について	.....	3 0
揚村彩乃議員		
道路の整備について	.....	3 2
三露蓮太郎議員		



草津市市制60周年関連事業子ども議会会議録

平成26年10月18日(土)開会

1. 議事日程

第1. 会議録署名議員の指名

第2. 会期の決定

第3. 一般質問

1. 会議に付議した事件

日程第1. 会議録署名議員の指名

日程第2. 会期の決定

日程第3. 一般質問

1. 会議に出席した議員(26名)

1番 奥村 究	2番 三崎 輝史
3番 小林 蒼	4番 遠田 はな
5番 梶井 哉幸	6番 朝雛 順正
7番 木下 花恵那	8番 今井 愛音
9番 山形 礼佳	10番 林 祐央
11番 我孫子 和	12番 日比 公大
13番 北川 想太	14番 内山 大翔
15番 西出 芽生	16番 白井 陽菜
17番 溝口 茉佑	18番 芝田 智
19番 西山 愛華	20番 岡田 悠一郎
21番 松永 咲穂	22番 中村 真悠
23番 揚村 彩乃	24番 三露 蓮太郎
25番 村地 愛祈	26番 福井 岳

1 . 会 議 に 欠 席 し た 議 員  
な し

1 . 会 議 に 出 席 し た 説 明 員

市	長	橋	川	涉
草 津 市 議 会 議 長		棚	橋	幸 男
副 市 長		善	利	健 次
草 津 市 議 会 副 議 長		杉	江	昇
教 育 長		川 那 邊		正
総 務 部 長		加 藤	幹	彦
教 育 部 長		白 子	與 志	久
教育部理事（学校教育担当）		宮 地		均

1 . 会 議 に 出 席 し た 子 ど も 議 会 実 行 委 員

委 員 長	瀬	川	裕	海
副 委 員 長	伊	吹	達	郎
委 員	宇	野	房	子
委 員	篠	原	朋	子
委 員	小	野	元	嗣
委 員	西	村	隆	行

1 . 会 議 に 出 席 し た 事 務 局 職 員

事 務 局 長	中	野	和	彦
事 務 局 次 長	寺	井	儀	政
総 務 課 長	千	代	治	之
学 校 教 育 課 長	中	瀬	悟	嗣
議 事 庶 務 課 主 査	力	石	知	行

実行委員長（瀬川裕海）

皆さん、こんにちは。

初めに、市民憲章の唱和を行いたいと思います。恐れ入りますが、子ども議員の皆様、執行部席の皆様、また傍聴席におられる皆様、御起立をお願いいたします。

<全 員 起 立>

私が「一つ」と申し上げますので、その後に続いて大きな声で御唱和いただきたいと思います。

#### 草津市民憲章

私たち草津市民は、一つ、古い歴史にとけあった新しい文化をつくり、住みよいまちをきずくためにあたたかい心を持ちあって、ともにあすへの歩みを進めましょう。

一つ、豊かな生産に努めましょう。

一つ、高い教養を伸ばしましょう。

一つ、明るい環境を整えましょう。

一つ、良い風習を育てましょう。

どうもありがとうございました。

どうぞ御着席ください。

開会 午後 2時04分

議長（三露蓮太郎）

皆さん、こんにちは。

これより、草津市市制60周年関連事業「子ども議会」を開会します。

初めに、議長を務めます洪川小学校の三露蓮太郎です。どうぞよろしく申し上げます。

日程に入ります前に、草津市議会を代表しまして棚橋草津市議会議長から御挨拶をいただきたいと思います。

棚橋議長、よろしく申し上げます。

草津市議会議長（棚橋幸男）登壇

皆様、こんにちは。

草津市議会議長の棚橋幸男でございます。

市内13小学校から26名の皆さん、子ども議員として出席いただきまして、まことにありがとうございます。

既に、皆さんには御存じのことかと思えますけども、草津市はこととして市制施行60周年を迎えました。これは我々、人でいうところの60歳になったということでございます。子ども議会はその記念行事といたしまして、市民の皆さんに議会をもっと身近に感じていただく、こういうところで小学生の皆さんに、この仕組みを知っていただくという目的のもとで開催するものでございます。

本日は、通常の議会とほとんど同じ方法で進めていただきます。

子ども議員の皆さん、日ごろ感じておられますことや、疑問に思っていることを堂々と

発言をしていただきたいと思います。

なれない場所での発表に大変緊張されると思っておりますが、皆さん、リハもやっていただきましたので、ぜひ頑張ってくださいと思います。

さて、保護者の皆様始め関係者の皆様には、本日大変お忙しい中を傍聴いただきまして、心から感謝申し上げます。

本日のこの子ども議会が有意義なものとなりますことを願ひまして、まことに簡単ではございますが開会の挨拶といたします。皆さんよろしくお願ひいたします。

議長（三露蓮太郎）

棚橋議長、ありがとうございました。

これより日程に入ります。

～日程第1．会議録署名議員の指名～

議長（三露蓮太郎）

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員に、

1 番 志津小学校 奥村 究議員

2 6 番 玉川小学校 福井 岳議員

以上の両議員を指名します。

～日程第2．会期の決定～

議長（三露蓮太郎）

日程第2、会期の決定の件を議題にいたします。

お諮りいたします。

子ども議会の会期は、本日1日といたしたいと思ひます。

これに御異議はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（三露蓮太郎）

異議なしと認めます。

よって、子ども議会の会期は、本日1日と決定いたしました。

～日程第3．一般質問～

議長（三露蓮太郎）

日程第3、これより一般質問を行います。

質問書が各議員から提出されていますので、順次これを許可します。

1 番、志津小学校、奥村究議員。

1 番（奥村 究）

志津小学校、奥村究です。

ただいま議長から発言の許可をいただきましたので、よろしくお願ひします。

みんながいきいきとなるような特色のある学校の取り組みについて、志津小学校、奥村究。

志津小学校で取り組んでいるけん玉のよさについて話します。

けん玉のよさは、楽しいだけではありません。けん玉は集中力がつき、技に挑戦する粘り強さもつきます。

けん玉をするときの集中力は勉強に生かされています。国語で本と読むとき、文章に集中できます。

しかし、集中力が高まるだけでは、けん玉の技はこなせません。そんなときは、粘り強さが大切になってきます。諦めないことで一

一つ新しい技が成功できます。

このことが算数などの難しい問題を解くときに生かしています。

そして、いらいらしていてもけん玉はできません。心を落ちつかせることで何度も技を成功させることができます。

<けん玉の技を披露>

このようにけん玉をすることで集中力や粘り強さがつき、気持ちが落ちつくようになります。

けん玉と同様に、特色のある取り組みをしている学校があれば教えてください。

以上で、私の質問を終わります。

議長（三露蓮太郎）

それでは、ただいまの1番、奥村議員の質問に対して答弁を求めます。

川那邊教育長。

教育長（川那邊 正）

みんながいきいきとなるような特色のある学校の取り組みについての御質問にお答えします。

奥村議員の学校では、けん玉の取り組みを通して、全校のみんなが集中力や粘り強く頑張る力を高めているとお聞きし、すばらしいと思いました。

さて、市内の小・中学校では、それぞれが創意工夫をして特色ある取り組みを行っております。

例えば、笠縫東小学校では「図工日本一」を掲げ、図画工作科の学習が学校の伝統的な

取り組みになっています。特に、絵の作品では、全国レベルの大きな賞を20年以上続けて受賞しています。

また、山田小学校では、読書活動に積極的に取り組んでいます。全校児童の読書量をふやす取り組みに加えて「ビブリオバトル」などのイベントや、幼稚園や保育所の子どもたちを招いて図書館探検なども行い、楽しみながら「読書力」を培っています。

また、常盤小学校は、運動好きな子どもたちを育てています。体育の学習以外に、全校で毎日10分間運動に取り組んでいます。

きのう、ジュニアスポーツフェスティバルが行われましたが、その中で長縄8の字飛びですばらしい成績をおさめたのも常盤小学校でした。

ほかにも常盤小学校では、スポーツの名人による特別授業も盛んに行っています。

全校みんなで運動に親しみ、体力を伸ばしています。

中学校においても、例えば玉川中学校では、環境学習に積極的に取り組んでいます。生徒は、生き物や水、ごみ問題など環境にかかわる研究テーマを決め、町内会や市の環境課、企業、立命館大学等に出かけて活動を進めています。研究成果は、地域にも広く発信されています。

このように、市内のどの小・中学校でも特色ある取り組みを進めており、各校のホームページで見ることができます。

これらの取り組みは、各校の自慢や誇りであるとともに、草津市全体を元気にする大きなエネルギーにもなっています。

今後も各校の取り組みを積極的に支援していきたいと思っています。

議長（三露蓮太郎）

以上で、奥村議員の質問に対する答弁は終わりますが、奥村議員よろしいでしょうか。

1番（奥村 究）

ありがとうございました。

議長（三露蓮太郎）

これにて1番、志津小学校、奥村究議員の質問を終わります。

次に、2番、草津小学校、三崎輝史議員。

2番（三崎輝史）

草津小学校、三崎輝史です。

ただいま議長から発言の許可をいただきましたので、よろしくをお願いします。

僕の質問したいことは「なぜ草津市の小学校に電子黒板を導入したのか」です。

僕の意見としては、電子黒板は使い方を工夫しなければいけないと思います。

なぜなら、電子黒板に頼り過ぎると学力向上にはつながらないのではと思うからです。

例えば、算数の図形の問題で、角が90度の扇形の中に、角が90度の直角二等辺三角形がぴったり入っていて、直角二等辺三角形を除いた部分の面積を求めるものがありました。パソコンで矢印をクリックすると、図形が変わって円の中に正方形が斜めに入ってい

る形になりました。これで考え方を示しているのに、計算間違いをしない限り、答えはあってしまいます。

考え方は自分で考えるほうが学力は向上すると思います。

このような理由から、電子黒板は答えあわせのときや学習を進展させるときなど、使い方を工夫しないと学力はあがらないと思います。

なぜ、草津市では電子黒板を導入したのですか。

私の質問を終わります。

議長（三露蓮太郎）

それでは、ただいまの2番、三崎議員の質問に対して答弁を求めます。

川那邊教育長。

教育長（川那邊 正）

草津市は、なぜ電子黒板を導入したかについてお答えします。

今回の質問を聞き、三崎議員が日ごろから授業に真剣に取り組んでいる様子が目に浮かびます。

電子黒板は、全ての子どもたちにとって授業がわかりやすくなることと、学習への意欲と感心、集中力の向上につながることから導入しました。

ことして5年目を迎えますが、先生方からは「画像や動画によってわかりやすく教えることができる」「子どもたちの話し合いの時間や発表の機会がふえた」という声を多く聞

いています。

また、三崎議員の小学校の子どもたちに、この7月にお尋ねした調査でも「電子黒板を使った学習や実験したり、観察したりする学習は好きで頑張れました」と回答された人が90%を超えています。

このことから、授業内容の理解に電子黒板は役立っていると考えています。

しかし、質問にある算数科の図形の面積の学習における電子黒板の活用場面では、考える力を伸ばすことができなかつたのではないかと感じておられますね。

このような学習をするときには、電子黒板で求め方を画像や動画で示すほか、実際に子どもたちが画用紙からはさみを使って、習っている図形を切り取って、そこから面積を導き出すなど、いろいろな方法が考えられます。「どのような方法を用いれば、よりわかりやすくなるのか」「考える力がつくのか」「また、電子黒板をどう効果的に使うのか」など、先生たちも日々研究しているところです。

教育委員会も電子黒板を効果的に使っていけるよう、市内の先生たちとともに取り組みます。

また、ことし9月から導入されたタブレットPCも活用しながら、一層学習に励み、確かな力をつけていただくことを期待しています。

議長（三露蓮太郎）

以上で、三崎議員の質問に対する答弁は終

わりますが、三崎議員よろしいでしょうか。

2番（三崎輝史）

ありがとうございました。

議長（三露蓮太郎）

これにて2番、草津小学校、三崎輝史議員の質問を終わります。

次に、3番、草津第二小学校、小林蒼議員。

3番（小林 蒼）

草津第二小学校、小林蒼です。

ただいま議長から発言の許可をいただきましたので、よろしくお願ひします。

「子どもが遊ぶことのできる自然のある環境づくり」僕は子どもが遊ぶことのできる自然のある環境づくりをしてほしいです。

なぜなら、僕の住んでいる駅前には幾つかあった空き地にどんどんマンションが建設され、遊ぶ場所が減っていったり、外で遊ぶことのできる広い場所が学校以外にほとんどなくなっていったりしているからです。

さらに、今遊んでいる旧草津川堤防も整備が始まってしまうと、子どもが遊ぶことが無理になります。

旧草津川堤防は、自然もあり、春には桜を見ながら遊ぶこともできるし、昆虫広場は虫好きの友達には大切な場所です。

そして、ことしの春、僕たち第二小の6年生は旧草津川堤防を琵琶湖まで歩きました。そのときも自然や季節を感じながら歩くことができました。

僕はボールを使って遊べたり、走り回った

りできる広い場所があるとみんなが喜ぶと思うし、自然を感じて遊べると、なおいいので、そういう場所をつくったり、守ったりしてほしいです。

以上で、私の質問を終わります。

議長（三露蓮太郎）

それでは、ただいまの3番、小林議員の質問に対して答弁を求めます。

橋川市長。

市長（橋川 渉）

子どもが遊ぶことのできる自然のある環境づくりについての御質問にお答えします。

草津市では、まちの発展とともに、道路や住宅、マンション、商店などが各地域で建設されてきました。

そのため、草津駅周辺の地域を初めとして、緑地や広場など、子どもが遊ぶことのできる自然の残る場所がだんだんと少なくなってきています。

そこで、市では「花と緑のまちづくり」をしていこうと緑を守り、つくり、育てるためのさまざまな取り組みを計画的に進めています。現在、草津駅周辺の地域では、2カ所の大きな緑地公園を整備しています。

一つ目は、今回小林議員が心配して下さっている草津川の跡地です。

堤防沿いにある桜並木などの美しい自然、全国的にも珍しい天井川の地形などを生かしながら、市民の皆さんに安らぎや安心を感じてもらえる場所として、また遊びや自然との

触れ合いの中で子どもたちが学習できる場所として整備を進めています。

二つ目は、野村公園です。

現在ある野村運動公園を広くして、グラウンドや体育館、公園を数年かけて今まで以上に使いやすくし、ボールを使ったり、走り回ったりすることができるよう整備に取り組んでいます。

工事期間中は遊べる場所が限られますが、整備が終われば、誰もが自由に気軽に自然を感じて遊び、利用できる場所となりますので、期待してお待ちいただきたいと思います。

議長（三露蓮太郎）

以上で、小林議員の質問に対する答弁を終わりますが、小林議員よろしいでしょうか。

3番（小林 蒼）

ありがとうございました。

議長（三露蓮太郎）

これにて3番、草津第二小学校、小林蒼議員の質問を終わります。

次に、4番、玉川小学校、遠田はな議員。

4番（遠田はな）

玉川小学校、遠田はなです。

ただいま議長から発言の許可をいただきましたので、よろしく申し上げます。

「空き缶や空き瓶のポイ捨てについて」私は南草津駅近くのマンションから通学路を歩いて小学校に向かいますが、ところどころに空き缶や空き瓶が落ちているのを見かけます。登下校は集団で歩いているので、一個でも落

ちていたらよけなくてはならないので迷惑です。視覚障がいのある人は、もっと迷惑です。白いつえで缶を感知することはできますが、缶をよけることができないので転んでしまいます。

なぜ道路に空き缶や空き瓶が落ちているのでしょうか。

その最も悪いケースは、ごみ箱に缶を入れないで周りに捨ててしまうことです。

とても無責任な行為だと思います。

その近くの人はとても困っているはずで

では、どうしたらポイ捨てが減るでしょう。

まずはポスターで呼びかけ、それでも続くときはボランティア活動をふやし、ごみをなくすべきだと思います。

以上で、私の質問を終わります。

議長（三露蓮太郎）

それでは、ただいまの4番、遠田議員の質問に対して答弁を求めます。

橋川市長。

市長（橋川 渉）

ごみのポイ捨てについての御質問にお答えします。

通学路は本来、安全に歩くことのできる道であるはずなのに、空き缶や空き瓶が落ちていてとても困られているということで、大変残念なことだと思います。

通学路のほかにも駅前広場や道路・河川、琵琶湖岸などでも空き缶や空き瓶、食べ物や飲み物の容器、レジ袋などがポイ捨てされて

います。捨てた人たちは「誰も見ていないから」「ほかの人も捨てているから」といった軽い気持ちで捨てているのかもしれませんが。

しかし、どのような理由であれ、ごみのポイ捨てはまちを汚すだけでなく、いろんな人に迷惑をかける行為であり、決して許されるものではありません。

ごみのポイ捨てをなくす方法として、ポスター、チラシなどで多くの人に呼びかけ、マナーを守るようにすることはとても大切なことです。

さらに、ボランティア清掃活動を行い、ごみをなくしてきれいにし、新たなポイ捨ての発生を抑えることも有効だと考えています。

現在、市内のさまざまなところで、こうしたボランティア清掃活動が行われていて、この活動に対して、草津市は、その清掃に当たった道具の貸し出しとか、ごみ袋の配付などの支援を行っています。

これからも市民の皆さんと力を合わせたボランティア活動を続けていくことにより、ポイ捨てごみをなくしていきたいというように考えています。

議長（三露蓮太郎）

以上で、遠田議員の質問に対する答弁を終わりますが、遠田議員よろしいでしょうか。

4番（遠田はな）

ありがとうございました。

議長（三露蓮太郎）

これにて4番、玉川小学校、遠田はな議員

の質問を終わります。

次に、5番、山田小学校、梶井哉幸議員。

5番（梶井哉幸）

山田小学校、梶井哉幸です。

ただいま議長から発言の許可をいただきましたので、よろしくをお願いします。

「木や植物の大切さについて」私の家の近くには砂原天神社があり、その周りには木や竹やぶがあって、カブトムシやセミなど生き物が生存しています。

祖父の話によると、昔はもっとこのような生き物たちが多くいたそうですが、道路や建物を建てる際に木を伐採したため、住みかなくなり、また車がふえたことで空気も汚れ、年々数が減ってきているようです。

草津市内では雑草が生い茂り、手入れされていないところを幾つか見かけます。

このような場所に二酸化炭素を酸素に変えてくれたり、絶滅しそうな生き物が住めるような木などの植物を植え、不必要な草を刈るなどして環境を整えてほしいです。

そして、人と動植物がともに過ごしやすい森林公園などにしていき、草津全体を活性化し、人やいろんな生き物をふやして環境のよい草津市になってほしいです。

私もできるだけ地域の草刈りや緑化活動に参加し、環境改善に貢献していきたいです。

以上で、私の質問を終わります。

議長（三露蓮太郎）

それでは、ただいまの5番、梶井議員の質

問に対して答弁を求めます。

橋川市長。

市長（橋川 渉）

木や植物の大切さについての御質問にお答えします。

いろいろな生き物を育む豊かな自然や木々の緑は、私たちの生活に潤いや安らぎを与えてくれるとともに、環境の保全にも大きな役割を果たす大変貴重な存在です。そのため、草津市では、町内会に苗木を配付したり、学校や公園などの公共の場所に植樹を行ったりしています。

また、市内に残された緑豊かな場所や大切な樹木を次の世代に残していくために、自然環境保全地区、自然の環境を保全していく地区として16カ所、保護樹木、保護をしていく木として39本を指定して、これらを守っていく人を応援したり、樹木の健康状態を調べたりしながら大切に守っています。

そして、毎年緑化フェアというイベントを開催して、緑の大切さを市民に呼びかけたり、緑の募金活動を行って緑のまちづくりを進めています。

また、草津市では、子どもたちを中心とした環境学習を進めていて、毎年2月には、「子ども環境会議」皆さんも参加された方もあろうと思いますけれども、それを毎年開催しています。その中では、日ごろから環境学習に取り組んでいる子どもと大人、そして学校、企業などが集い、日ごろからの活動の成果を

発表したり、一緒に話し合い、交流して環境を守る活動の輪を広げています。

こうした取り組みによって、梶井議員のように、草刈りや緑化運動に参加し、環境を大切にしたいと思う人がますますふえてほしいと思っています。

議長（三露蓮太郎）

以上で、梶井議員の質問に対する答弁を終わりますが、梶井議員よろしいでしょうか。

5番（梶井哉幸）

ありがとうございました。

議長（三露蓮太郎）

これにて5番、山田小学校、梶井哉幸議員の質問を終わります。

次に、6番、笠縫小学校、朝雛順正議員。

6番（朝雛順正）

笠縫小学校、朝雛順正です。

ただいま議長から発言の許可をいただきましたので、よろしくをお願いします。

私は、ごみが捨てられることによって公園や道路などが汚れ、自然環境が悪くなっていることが気になります。ごみを出して燃やすことによって二酸化炭素が出ます。二酸化炭素がふえると、現在問題となっている地球温暖化を進ませることになります。

私は、ごみを出さない、ごみにしない、再利用できるものをできるだけ使う方法を考えていきたいです。

物を再利用できれば、捨てることが少なくなります。ごみを減らせば環境が汚れること

も少なくなり、ごみを燃やす量も減って、二酸化炭素がふえる心配も少なくなると思います。

そこで草津市内では、どのようにしてごみを減らす工夫をしているのか、教えていただきたいです。

以上で、私の質問を終わります。

議長（三露蓮太郎）

それでは、ただいまの6番、朝雛議員の質問に対して答弁を求めます。

橋川市長。

市長（橋川 渉）

草津市内におけるごみを減らす工夫についての御質問にお答えします。

ごみを減らすため、草津市では「3R」の推進を市民や企業、さまざまな団体の皆さんとともに進めています。

3Rというのは、Rを頭文字とする3つの言葉からとっています。まずリデュース、これはごみの発生を減らすこと。リユース、繰り返し使うこと。リサイクル、資源として再び利用することの3つです。

この3Rについての市内での取り組みの例を御紹介いたします。

最初にリデュースですが、市内のスーパーや小売店などでは、お客様に対してレジ袋を使わずにマイバックを使用して買い物をしていただくように働きかけています。レジ袋をもらわずにマイバックを使うことは、ごみを減らすリデュース活動です。

次に、リユースですが「リサイクルフェア くさつ」というイベントで、「リサイクルマーケット」や「おもちゃのかえっこバザール」が開催されています。家庭で使わなくなった物や遊んでいたおもちゃなどをそのまま捨てるのではなく、安い値段で販売したり、交換したりすることにより、他の人に有効に使ってもらうことができるようにするのがリユースの取り組みです。

最後に、リサイクルですが、家庭においてごみを種類ごとに分けて出していただくことがリサイクルにつながります。出されたごみのうち、例えばプラスチックやペットボトルは、服や文房具に再生することができます。また、子ども会やPTAの取り組みで回収された新聞紙や雑誌などは、もう一度新しい紙に生まれ変わり、新聞紙や雑誌などに使われます。

3Rは、身近なところで実践できるものです。議員の皆さんも日常生活でできることから実践していただいて、ごみの減量と再利用に御協力をお願いいたします。

議長（三露蓮太郎）

以上で、朝雛議員の質問に対する答弁を終わりますが、朝雛議員よろしいでしょうか。

6番（朝雛順正）

ありがとうございました。

議長（三露蓮太郎）

これにて6番、笠縫小学校、朝雛順正議員の質問を終わります。

次に、7番、常盤小学校、木下花恵那議員。

7番（木下花恵那）

常盤小学校、木下花恵那です。

ただいま議長から発言の許可をいただきましたので、よろしくお願いします。

「ごみのポイ捨てについて」私たちの常盤小学校には、ごみが落ちていることがあります。学校に遊びに来た人がポイ捨てをしたのでごみが落ちているのだと思います。排水溝や川にもお菓子の袋など、ごみを捨てる人を見て注意したことがあります。

クラスで「ごみを捨てたところを見たことがありますか」というアンケートをしたところ、24人中15人が見たことがあると回答しました。

ごみのポイ捨てをなくすため、校内や地域にごみ箱を置くとよいと思います。

また、ごみを捨てないように呼びかけるのも大切だと思います。

そうすることでまちや草津市全体がきれいになると思います。

これらのことについて取り組んでいきたいと考えています。

草津市全体でみんながきれいなまちになるようにするため、どのようにされているのか質問します。

以上で、私の質問を終わります。

議長（三露蓮太郎）

それでは、ただいまの7番、木下議員の質問に対して答弁を求めます。

橋川市長。

市長（橋川 渉）

草津市全体がきれいなまちになるための取り組みについての御質問にお答えします。

ごみのポイ捨てをなくすために、ごみ箱を設置すること、これも一つの方法ですけれども、残念ながら、ごみ箱を設置してもルールを守らずにごみをポイ捨てする人たちがいるため、なかなかごみのポイ捨てがなくならないのが現状です。

草津市では、平成12年に「草津市ポイ捨て防止に関する条例」という決まりを定めて、ポイ捨てごみの防止と環境に優しいまちづくりに努めています。

そのための具体的な取り組みの一つとして「ポイ捨て防止市民行動の日」を定めて、毎年5月にポイ捨てごみの清掃とごみのポイ捨て防止の呼びかけを市民の皆さんとともに行っています。

また、各地域でも道路や河川、琵琶湖岸など、公共の場所のボランティア清掃活動が熱心に行われています。

さらに、ごみのポイ捨てがされないように、定期的に見回り活動を行ったり、滋賀県や市、さまざまな団体などが一緒になって広報誌やチラシ、看板などを作成したりして啓発に努めています。

草津市をきれいなまちにするためには、このように市全体で力を合わせて取り組みを続けることが重要だと思います。ひとり一人の

意識を高めることにより、ごみのポイ捨てのないきれいなまちづくりが実現できるよう議員の皆さんも御協力をお願いいたします。

議長（三露蓮太郎）

以上で、木下議員の質問に対する答弁を終わりますが、木下議員よろしいでしょうか。

7番（木下花恵那）

ありがとうございました。

議長（三露蓮太郎）

これにて7番、常盤小学校、木下花恵那議員の質問を終わります。

次に、8番、志津南小学校、今井愛音議員。

8番（今井愛音）

志津南小学校、今井愛音です。

ただいま議長から発言の許可をいただきましたので、よろしくお願いいたします。

「通学路の道幅と街灯について」私たち、志津南小学校は、児童の多くが、かがやき通りを通学路として使っています。その歩道の道幅を広くし、街灯を設置してほしいと思っています。

なぜなら、児童数もふえてきて、特に朝の登校時間帯には、たくさんの分団の人が歩き、低学年の人がついて行けなかったり、転んでけがをしたりして危ないからです。

また、高学年や中学生になると、暗くなってから帰ることもあり、怖い思いをすることがあるからです。

歩道には、中学生や高校生の自転車、体の不自由な人、急いでいる人など、いろいろな

人が利用します。困っている人がいるのを実際に見たこともあります。

歩道の狭いところ、街灯のないところはほかにもあり、全部直してもらうのは難しいかもしれません。でも、みんなが安全に気持ちよく通れるようになってほしいです。

ぜひ検討をよろしく願いいたします。

以上で、私の質問を終わります。

議長（三露蓮太郎）

それでは、ただいまの8番、今井議員の質問に対して答弁を求めます。

橋川市長。

市長（橋川 渉）

まず一点目の通学路の道路幅についての御質問にお答えいたします。

今井議員が通学路として利用されている、かがやき通り、これは南草津駅から志津南小学校がある若草地域までの間を結ぶ主要な道路として歩道も含めて、平成14年10月に完成をしました。現在、多くの車や人、自転車が利用をしています。

市内には、まだまだ歩道のない道路も多いことから、歩道の幅を広げるよりも、新しく歩道をつくることを、今、優先的に市のほうでは取り組んでいます。

歩道を新しくついたり、広げたりするためには、その土地を買い取ったり、家の移転をお願いしたりする必要があり、なかなかすぐには、これは整備できない現状があります。

現在の歩道を安全に通るためには、自転車

に乗る人はスピードを落とし、歩行者は一列になるなど、大人も子どもも交通ルールを守ることも大事です。

また、そういった歩道をつくって幅を広げるといっても、市のほうでは取り組んでいなくてはならないと思っています。

次に、二点目の通学路の街灯についての御質問にお答えします。

現在、市では、それぞれの地域の町内会などから要望のある箇所にできるだけ早く、防犯灯を設置するように努力をしています。

しかし、市内全体で年間50基程度を設置していますが、全ての必要な場所に設置が完了するまでには、しばらく時間がかかります。市内には明かりがまだまだ十分でない地域もあることから、暗くなる前に早く家に帰ることや、遅くなる時は前もって御家族の方へ知らせるなど心がけることも大切だと思います。

もちろん、草津市としても、皆さんが安心して道路を利用することができるように、防犯灯の設置にもこれからも頑張っていきます。

議長（三露蓮太郎）

以上で、今井議員の質問に対する答弁を終わりますが、今井議員よろしいでしょうか。

8番（今井愛音）

ありがとうございました。

議長（三露蓮太郎）

これにて8番、志津南小学校、今井愛音議員の質問を終わります。

次に、9番、草津第二小学校、山形礼佳議員。

9番（山形礼佳）

草津第二小学校、山形礼佳です。

ただいま議長から発言の許可をいただきましたので、よろしくをお願いします。

私は、雨の日に車に乗っていて、外を見上げたら、電線がたくさんあることに気づきました。そのことを話すと、お父さんが「この電線を地下に埋めればいいのにな」と言いました。そして「そのままだといろんな危ないことがあるね」と話していると、私も電線を地下に埋めれば良いと思いました。

理由は3つあります。

一つ目は、電線が切れることについてです。雨などで電線が切れて、人に当たって感電するなど危険だけれど、地下に埋めれば、その危険は少なくなると思います。

二つ目は、電柱が倒れることです。強風などで電柱が倒れて家が壊れたり、ブロック塀が崩れたりして大変ですが、地下の場合、その心配も少なくなると思うからです。

三つ目は、まちがすっきりするという事です。今見えている電柱や電線が地下に移れば、まちがすっきりすると思います。

この3つの理由から電線を地下に埋めたらいいと思います。

以上で、私の質問を終わります。

議長（三露蓮太郎）

それでは、ただいまの9番、山形議員の質

問に対して答弁を求めます。

橋川市長。

市長（橋川 渉）

電線についての御質問にお答えします。

山形議員の御提案にあるように、電線を地下に埋めることでさまざまな効果があります。

まず、安全・安心の面については、阪神淡路大震災のときの例でも、倒壊した電柱が道路をふさぎ、垂れ下がった電線が火災を発生させ、被害を大きくしました。

電線を地中に埋めることで、地震や台風などの自然災害に強いまちになります。

また、まちなみがすっきりするということも言えます。

現在、草津市では、草津宿本陣、東海道のところですがけれども、その周辺で電線を地下に埋める方法や目立たなくするよう、さまざまな方策を検討をしています。電柱がなくなれば、今までわかりにくかった歴史的・伝統的な美しいまちなみを再発見できたり、観光に来ていただいたお客さんにも印象がよくなると思います。

また、電柱がなくなることで、道が広くなるというよさもあります。道幅が広くなればベビーカーや車いすを利用する人も、より安全に通行できるようになります。

このように、電線や電柱を地下に埋めることにより、さまざまな効果がありますが、道路の下には、水道管とかガス管などが既にたくさん埋まっています、これらを移設すること

が必要となります。

また、トランスという大きな機械を地上に置くことも必要になりますので、周辺の方と十分話し合い、協力を求めていかなければなりません。

そういった課題もありますが、関係する機関や地域の皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思います。

議長（三露蓮太郎）

以上で、山形議員の質問に対する答弁を終わりますが、山形議員よろしいでしょうか。

9番（山形礼佳）

ありがとうございました。

議長（三露蓮太郎）

これにて9番、草津第二小学校、山形礼佳議員の質問を終わります。

次に、10番、南笠東小学校、林祐央議員。

10番（林 祐央）

南笠東小学校、林祐央です。

ただいま議長から発言の許可をいただきましたので、よろしくをお願いします。

市長、私たちの南笠東小学校の通学路には、立ち当番の人がいて、大きな声で挨拶をしてくれるとても明るい通学路です。

しかし、その通学路には、少し危険な場所もあります。それは、シンコーという工場の前の道路です。

その道路はとても幅が狭く、車道と歩道が色分けされていますが、ガードレールや縁石では分けられていません。朝の登校時には、

子どもが通るだけでなく、仕事に行く人たちの車もたくさん通ります。急いでいるのか、スピードを出して走る車もあります。子どもと車がすれ違うときに、立ち当番の人は事故が起こらないかと心配になるそうです。

そこで、私からの提案です。

登校時間の7時40分から8時10分までの間、車の通行を禁止してはどうでしょうか。もちろん、その区域に住む人や仕事をしている人の車は除くということでどうでしょうか。

市長、御意見をお聞かせください。

議長（三露蓮太郎）

それでは、ただいまの10番、林議員の質問に対して答弁を求めます。

橋川市長。

市長（橋川 渉）

登校時間における車の通行禁止についての御質問にお答えします。

最近、近隣の市において通学路における悲惨な事故が起こっていて、今回御意見をいただきました道路についても、決して安全な状況ではないと思っています。

どうやって改善をしていくかですが、現在の道路は幅が狭く、道路沿いに住宅や工場がたくさんあることから、道路を広げたり、新たに歩道をつくることや、ガードレールを設置することができません。

また、周辺の施設の利用が多いことや、かわりとなる道路もないことから通行を禁止するということになると、十分な周辺の皆

さんとの検討が必要となります。

そこで、市や警察では、地域の皆さんと一緒に、その道路を通り抜けする車を減らそうという対策を今、考えています。

例えば、道路の幅を狭く見えるようにしたり、道路に段差をつくったりして、スピードを出しにくい道路にすることで、通り抜けする車を減らしたいと考えています。

議長（三露蓮太郎）

以上で、林議員の質問に対する答弁を終わりますが、林議員よろしいでしょうか。

10番（林 祐央）

ありがとうございました。

議長（三露蓮太郎）

これにて10番、南笠東小学校、林祐央議員の質問を終わります。

次に、11番、志津小学校、我孫子和議員。

11番（我孫子 和）

志津小学校、我孫子和です。

ただいま議長から発言の許可をいただきましたので、よろしくをお願いします。

「みんなの憩いの場となるような草津川の跡地の利用について」志津小学校、我孫子和。

草津川の堤防は長い歴史があります。きっと昔から大切に守り、受け継がれてきたと思います。

今は、その草津川をつくり変えようという話を聞きます。

もし、つくり変えるのなら、それこそ草津川歴史博物館やサッカーができる場所、新し

く草津に住む人たちの団地など、市民、県民のためになったり、大人から子どもまでたくさんの人たちが使えたりする、そんな場所をつくってほしいです。

なぜなら、私は未来に生まれる子どもたちや草津川を知らない人々に、草津川の長い歴史を伝えていきたい、受け継いでほしい、そんな思いがあるからです。

世界のいろいろな歴史、文化が大切にされているように、草津川も市や県の文化、歴史として守り、受け継いでいきたいです。

草津川の堤防再利用について、どう考えておられますか。

以上で、私の質問を終わります。

議長（三露蓮太郎）

それでは、ただいまの11番、我孫子議員の質問に対して答弁を求めます。

橋川市長。

市長（橋川 渉）

草津川跡地の利用についての御質問にお答えします。

天井川である草津川は、平成14年に新草津川ができて、川としての役目を終えました。それ以降、草津川の跡地をどのように利用するかについて、草津に住んでいる人を初め、都市計画の専門家の人や草津川に興味のある方など、いろいろな方々が集まって話し合いを進めてきました。

草津川跡地の市街地沿いには、東海道、中山道のまちなみが広がっていて、草津市の大

きな観光の資源にもなっています。

とりわけ、明治43年からの6年間に、草津小学校の卒業生の方が記念として植えられた堤防の桜並木は、たくさんの人々に親しまれてきた長い歴史があります。

このようなよさを大切に、未来を生きる子どもたちに受け継いでいくことが私たちの役目であると考えています。

今年度から草津川跡地の整備工事が始まりました。そこでは、水害から人々を守るために長い年月をかけ、周辺の土地よりも川底が高い天井川となった草津川の独特の地形も生かし、子どもからお年寄りまで親しみやすく楽しく利用できるイベント広場や緑の広場をつくっていきます。

また、訪れた方がくつろぎ、楽しめるお店なども計画をしています。

そして、もし大きな災害が発生したときには、皆さんの避難場所や緊急に必要な車両の通行の道、さらには防災訓練などにも活用できる場所として考えています。

草津川跡地の文化・歴史を守り、この貴重な空間を生かして、皆さんと一緒に未来に引き継いでいきたいと思っています。

議長（三露蓮太郎）

以上で、我孫子議員の質問に対する答弁を終わりますが、我孫子議員よろしいでしょうか。

11番（我孫子 和）

ありがとうございました。

議長（三露蓮太郎）

これにて11番、志津小学校、我孫子和議員の質問を終わります。

次に、12番、矢倉小学校、日比公大議員。12番（日比公大）

矢倉小学校、日比公大です。

ただいま議長から発言の許可をいただきましたので、よろしくお願いします。

「みんなが自由に遊べる公園をつくって、外で遊ぶ子の数をふやそう」今の子どもたちは、ゲームばかりして、外で遊ばないと言われることがあります。

でも本当にそうでしょうか。

僕が要望したいことは、僕たちがもっと自由に使えるボール遊びが自由にできる、公園やグラウンド、空き地をつくってほしいということです。「ボールを使ってはだめ」、「してはだめ」など、規則が多過ぎて、みんなで集まってサッカーなどをすることもできず退屈でたまりません。学校の運動場もフェンスが低く、隣の家に入ってしまうこともあります。思いっきり蹴ったり、投げたりできないのです。

今の子どもたちは、外で遊ばないのではなく、遊べないのです。

なので、草津市内の至るところに、僕たちが思いっきり自由に遊んだり、投げたり、蹴ったりできる公園やグラウンド、広場をつくってください。お願いします。

以上で、私の質問を終わります。

議長（三露蓮太郎）

それでは、ただいまの12番、日比議員の質問に対して答弁を求めます。

橋川市長。

市長（橋川 渉）

みんなが自由に遊べる公園をつくって、外で遊ぶ子どもの数をふやそうという質問にお答えします。

市内の各地域にある身近な公園は、子どもからお年寄りまで、多くの人が自由に気軽に利用できるようにつくられています。

しかし、規模が小さいものについては、ボール遊びをすると、小さな子どもやお年寄りにけがをさせたり、近所の家にボールが飛び込んだりして周りの人たちの迷惑になってしまいます。このため、地域に皆さんと相談して、ボール遊びの禁止など幾つかのルールを決めています。

日比議員の近所の公園では、小さい規模のところについては、ボール遊びは難しいかもしれませんが、ロク八公園や野村運動公園、弾正公園、矢橋帰帆島公園など大きな公園で保護者の方と一緒に利用していただけたらと思います。

次に、市内に自由に遊べる場所をつくることについてお答えします。

市では、「緑を守り、つくり、育てるための計画」をつくりました。ボール遊びなどが安全に楽しめる十分な広さを持った公園をつくるために、野村運動公園を広くして、その

中にある体育館を建てかえ、グラウンドなどの改修を行い、使いやすくしていきます。

また、現在、草津川跡地や狼川では、自然と触れ合える遊び場もつくっていきます。このような取り組みを通して、外で遊べる子どもの数をふやし、誰もが自由に、気軽に利用できる公園づくりを進めていきたいと考えています。

議長（三露蓮太郎）

以上で、日比議員の質問に対する答弁を終わりますが、日比議員よろしいでしょうか。

12番（日比公大）

ありがとうございました。

議長（三露蓮太郎）

これにて12番、矢倉小学校、日比公大議員の質問を終わります。

次に、13番、笠縫東小学校、北川想太議員。

13番（北川想太）

笠縫東小学校、北川想太です。

ただいま議長から発言の許可をいただきましたので、よろしくをお願いします。

「子どもが思いっきり遊べるように」僕が子ども議会の場を使って意見したいことは、公園の数をまちに多くするという事です。

なぜ、こういう要望をあげたかという、僕の住んでいる校区は、公園が多いところと少ないところがあるからです。友達と近くの公園で遊ぼうとすると、人が多いという理由で遠くの公園に行くことになってしまいます。

しかも、最近ではボールが使えない公園がふえてきて、子どもが思いっきりサッカーや野球などのボール運動ができないと思います。

このような理由から、僕は広くてボールが使えて、誰でも楽しく遊べる公園をふやしたらいいと思います。そうすれば、たくさんの方が公園で遊びはじめ、まちがにぎやかになると思います。

以上で、私の質問を終わります。

議長（三露蓮太郎）

それでは、ただいま13番、北川議員の質問に対して答弁を求めます。

橋川市長。

市長（橋川 渉）

まちに公園の数を多くすることについての御質問にお答えします。

草津市では、将来に緑を残していくための計画を立てて、その中で市内に公園をふやしていく目標を決め、公園をつくっていきます。

駅周辺地域については、人口が集中している場所では店が多く、交通の便利がよいことはありますけれども、公園が少なく、あいた土地もないことから、その場所に新しい公園をつくることは難しくなっています。

一方、駅から離れたところで住宅や団地ができる地域では、計画的に公園の数をふやすようにしていますので、公園の数が多くなっています。

また、公園内でのボール遊びについては、公園の近くに住んでおられる方から「ボール

が家に飛び込んで困る」という相談を受けることがあります。このような場合には、町内会と話し合いをし、ボール遊び禁止の看板をつけているところもあります。

草津市では、大きな広場をこれからもつくっていかうということで、一つは野村運動公園を広げる計画をして、また草津川跡地にも広場をつくるように整備を進めていきます。

今後も、皆さんが伸び伸びと元気に遊べる公園をふやすために取り組んでいきたいと考えています。

議長（三露蓮太郎）

以上で、北川議員の質問に対する答弁を終わりますが、北川議員よろしいでしょうか。

13番（北川想太）

ありがとうございました。

議長（三崎輝史）

これにて13番、笠縫東小学校、北川想太議員の質問を終わります。

ここでしばらく休憩します。

休憩中に議長を交代します。ここまでの進行に御協力いただき、ありがとうございました。

この後の会議は、午後3時20分に再開いたします。

休憩 午後 3時10分

再開 午後 3時20分

議長（三崎輝史）

会議を再開します。

ここからの議長を努めます草津小学校の三崎輝史です。どうぞよろしくをお願いします。

それでは、引き続き一般質問を行います。

次に、14番、志津南小学校、内山大翔議員。

14番（内山大翔）

志津南小学校、内山大翔です。

ただいま議長から発言の許可をいただいたので、よろしくをお願いします。

「運動場の芝生化について」僕は、運動場の体育の時間や休み時間に転んでしまい、泥だらけになったり、けがをしたことがあります。だから運動場を芝生化してほしいと思っています。

なぜなら、芝生になると、もしこけてしまっても大きなけがになりにくく、思いっきり運動ができるからです。運動会の組み立て体操でも演技に集中できます。また、砂だと走ったときに砂ぼこりがたち、目に入ったり、体が汚れたりします。衛生面から考えても芝生のほうがいいと思います。

滋賀県を始めとして、今の小学生は体力テストの結果からも、昔に比べて運動能力が低下しています。運動する子どもがふえれば、体力や運動能力も伸び、病気になる子どもも減ると思います。ぜひ、検討をよろしくをお願いします。

以上で、私の質問を終わります。

議長（三崎輝史）

それでは、ただいまの14番、内山議員の

質問に対して答弁を求めます。

川那邊教育長。

教育長（川那邊 正）

運動場の芝生化についてお答えします。

内山議員が言われるとおり、運動場を芝生化すると、転んでもけがをしにくくなりますし、思いっきり外遊びをすることができ、体力向上に大きな効果があります。

また、芝生は砂ぼこりを防ぐとともに、太陽の照り返しや気温の上昇を抑えるなど、環境面でもよい点があります。

このようなことから、草津第二小学校と笠縫東小学校において、運動場の一部ではありますが芝生化を実施しています。

そこでは、水泳学習の準備体操、運動会、地域のお祭りなどに利用され、地域で大切に見守り、育てていただいております。

その一方で、芝生は植えてから育つまでの期間として約5カ月、また芝生が弱っている場合には、元気になるまで1、2カ月程度運動場が使えなくなることもあります。

また、芝生を枯らさないためには、水や肥料をあげたり、芝刈りをしたりするなど世話が必要となります。

学校の運動場は、学校での学習や遊びの場だけではなく、スポーツ少年団や地域の方々のさまざまな活動の場ともなっています。

このことから、運動場を使う児童の皆さん、保護者の皆さん、そして地域の皆さんや学校の先生方が十分な話し合いをしていただ

き、皆さんが協力しながら芝生を育てていた  
だけようでしたら、芝生化を実施してい  
きたいと考えています。

議長（三崎輝史）

以上で、内山議員の質問に対する答弁を終  
わりますが、内山議員よろしいでしょうか。

14番（内山大翔）

ありがとうございました。

議長（三崎輝史）

これにて14番、志津南小学校、内山大翔  
議員の質問を終わります。

次に、15番、山田小学校、西出芽生議員。

15番（西出芽生）

山田小学校、西出芽生です。

ただいま議長から発言の許可をいただきま  
したので、よろしくをお願いします。

「小中高生の交流イベントについて」「中  
高生を先生とした授業について」私は6年生  
になってから、中学校や高校など自分の進路  
について考えるようになりました。

学校では、休み時間に同学年だけでなく、  
1、2年生など低学年の子とも一緒に遊んで  
います。遊んでいると学年の様子についてよ  
くわかります。

このことから、私は中高生とも遊びなどを  
通じて交流をしてみたいと考えました。

中学校や高校の勉強や部活、行事など先輩  
方から聞いてみたいです。

そこで、私は小中高生が交流できるイベン  
トの実施を提案します。一緒に物をつくった

り、ゲームをしたりする中で、仲よくなりた  
いです。

また、各学校の紹介パネルを掲示し、質問  
をするのもよいと思います。

また、中高生に先生として小学校に来ても  
らうのもよいと思います。英語など、教科の  
勉強や学校生活について教えてほしいです。

このような中高生と小学生の交流を希望し  
ます。

以上で、私の質問を終わります。

議長（三崎輝史）

それでは、ただいまの15番、西出議員の  
質問に対して答弁を求めます。

川那邊教育長。

教育長（川那邊 正）

まず、一つ目の小中高生の交流イベントに  
ついてお答えします。

小中高生がお互いに交流して学び合うこと  
は大切であり、西出議員の提案はぜひ生かし  
ていきたいと考えています。

今、草津市では、老上小中学校をモデル中  
学校区として、小学校と中学校との交流を進  
めています。例えば、中学校体育祭への6年  
生の参加や部活動体験などです。

また、中学校の先生が小学校の児童に教え  
るようなこともあります。

提案にあった学校の紹介パネルについても  
実践しています。

今後は、このモデル校の取り組みの成果を  
他の学校にも広げていきたいと考えています。

次に、中高生を先生とした授業についての御提案にお答えします。

草津市では、県立湖南農業高校からの働きかけもあり、草津小学校や志津南小学校の小学生が高校を訪れ、高校生にトウモロコシの栽培方法を教わったり、育てたアオバナの粉を使ったお菓子づくりを体験したりしています。

しかしながら、互いの学校が行き来するには遠いことや、それぞれに時間割があることなどから、中高生が小学校に来て、直接教えるような機会を持つには、幾つかの問題があると考えています。

今後、教育委員会としては、どのようにしていけば交流の機会をうまくつくれるのかを学校と一緒に検討し、多くの学校が取り組んでいけるよう働きかけたいと思っています。

西出議員、そして子ども議員の皆さん、ぜひ児童会などで中学校や高校との交流についても提案してみてください。

また、地域の行事等にも小中学生に積極的に参加をしていただき、一緒に話をしたり、活動したりして交流の輪を広げていただくことを期待もしています。

議長（三崎輝史）

以上で、西出議員の質問に対する答弁を終わりますが、西出議員よろしいでしょうか。

15番（西出芽生）

ありがとうございました。

議長（三崎輝史）

これにて15番、山田小学校、西出芽生議員の質問を終わります。

次に、16番、常盤小学校、白井陽菜議員。16番（白井陽菜）

常盤小学校の白井陽菜です。

ただいま議長から発言の許可をいただきましたので、よろしくお願いします。

「あいさつ運動について」私の学校ではあいさつ運動に取り組んでいます。その取り組みは誰にでも明るく元気に挨拶しようという内容です。けれども、先生だけに挨拶をしている人が多いと思われま

す。また、友達同士では挨拶ができていない人かと思いますが、地域の人にできていない人がいます。その理由は、登下校中におしゃべりをしているからです。遠いところにおられてできないことがあるかもしれませんが、挨拶をしないのは失礼だと思います。

「なぜ、しないといけないのか」と思う人がいるかと思いますが、挨拶は相手はもちろん、自分も気持ちのいい気分になります。自分から大きな声で挨拶をして、返事が返ってくると、とてもうれしいです。ふだん何げなくしている挨拶ですが、常盤学区だけでなく、草津市全体で挨拶することの大切さを発信していただきたいと思っています。

以上で、私の質問を終わります。

議長（三崎輝史）

それでは、ただいまの16番、白井議員の

質問に対して答弁を求めます。

川那邊教育長。

教育長（川那邊 正）

あいさつ運動についての御提案にお答えします。

白井議員の学校では、あいさつ運動に取り組み、白井議員も毎日元気に挨拶に取り組んでおられる様子が目に浮かびます。

草津市内では、全ての小中学校で挨拶をしっかりとしていこうと取り組んでいます。

志津南小学校では、毎月10日を「ハートデー」として、たくさんの先生たちと地域の方が校門で子どもたちを迎え、子どもたちにも挨拶を元気に返しています。

また、草津小学校では生活委員会の子どもたちや地域の方々、先生たちが一緒になって「あいさつひびかせ隊」を結成し、校門で登校してきた子どもたちを明るく爽やかに迎えています。

草津中学校では、毎月第一、第三火曜日に生徒会があいさつ運動を行い、朝から気持ちのよい挨拶が響いています。

あいさつ運動を通して子どもたちは「元気が出るようになった。」、「学校が明るくなってきた。」、「自分から挨拶できるようになって、発表も進んでできるようになった。」と、挨拶の大切さやすばらしさを感じています。

これからも各学校でこのようなあいさつ運動を続け、挨拶の大切さやすばらしさをみんな

なが感じとってほしいと願っています。そうすれば、草津市全体に挨拶の輪が一層広がっていくものと考えます。

白井議員を初め、ここにおられる子ども議員の皆さんが各校の先頭に立ち、学校だけではなく、地域にもあいさつの輪をさらに広めていただくよう期待をしています。

また、大人も子どもも互いに挨拶を交わし、気持ちのよい挨拶が響く草津市となるよう、教育委員会としても一層取り組んでいきたいと考えています。

議長（三崎輝史）

以上で、白井議員の質問に対する答弁を終わりますが、白井議員よろしいでしょうか。

16番（白井陽菜）

ありがとうございました。

議長（三崎輝史）

これにて16番、常盤小学校、白井陽菜議員の質問を終わります。

次に、17番、渋川小学校、溝口茉佑議員。  
17番（溝口茉佑）

渋川小学校、溝口茉佑です。

ただいま議長から発言の許可をいただきましたので、よろしくお願いします。

「市内の川の整備、自然と触れ合える場所について」私たちは、5年生のころに葉山川と伊佐々川に魚とりに行きました。伊佐々川は整備されていて、水辺に行くための階段や飛び石がありましたが、葉山川は整備されておらず、土手になっていて、川までの道が危

険で近づきにくいと思いました。

そのことから、私は、もっと草津市に自然と楽しく触れ合える場所をふやしてほしいと思いました。

私たちの渋川小学校は、去年、渋川生き物絵図をつくりました。そのとき私は「渋川にはこんなにたくさんの生き物がいるんだ」と感じました。全校のみんなもきっとそう思っています。だからこそ、草津市の皆さんにももっと自然と触れ合ってもらえたらいいなと思います。

そこで、私はみんなに自然と親しんでもらえるよう、身近な川に階段をつけたり、幼い子どもも自然と触れ合えるような公園をつくらせたりしてほしいと思います。

草津市の自然をもっとみんなが好きになるためによろしくお願いします。

以上で、私の質問を終わります。

議長（三崎輝史）

それでは、ただいまの17番、溝口議員の質問に対して答弁を求めます。

橋川市長。

市長（橋川 渉）

自然環境についての御質問にお答えします。

まず一点目の市内の川の整備についてお答えします。

市内にある川のうち、現在、階段などをつけて自然と触れ合えるようにしている川は、伊佐々川、狼川、十禅寺川があります。

溝口議員の御提案にありました葉山川につ

いては、ふだんは余り水が流れていなくても集中して豪雨となりますと、上流の影響で一瞬にして水位があがり、そこにいた人は逃げ場がなくなり、非常に危険なことから、階段は現在つくられておりません。

御提案いただいたように、身近な川で自然と触れ合うことは、非常に大切なことですが、川底までおりる階段をつくる時は、川で遊ぶ人などの命を守ることが重要ですので、利用するときに事故が起こらないような対策を慎重に検討していかなければなりません。

しかし、安全に利用できる河川については、階段などの自然と触れ合うことができる施設を川を管理している滋賀県に対し、積極的に今後も要望してまいります。

次に、二点目の自然と触れ合える場所についての御質問にお答えします。

草津市は、人も自然とともに豊かに暮らせるまちを目指し、現在、狼川や平湖などの水辺の広場を利用して公園をつくっているところです。自然を感じながら、遊んだり、学んだりすることができる場所となりますし、今後も自然を守りながら、子どもも大人も楽しい場所となるような公園づくりに取り組んでいきます。

議長（三崎輝史）

以上で、溝口議員の質問に対する答弁を終わりますが、溝口議員よろしいでしょうか。

17番（溝口茉佑）

ありがとうございました。

議長（三崎輝史）

これにて17番、渋川小学校、溝口茉佑議員の質問を終わります。

次に、18番、老上小学校、芝田智議員。

18番（芝田 智）

老上小学校、芝田智です。

ただいま議長から発言の許可をいただきましたので、よろしくをお願いします。

僕は、草津市矢橋町に住んでいます。近所の十禅寺川という河川でよく釣りをします。ですが、お父さんは「30年前はとてもきれいだったよ」と言っていました。

確かに、泥や雑草が川にたまっていて、不法投棄もあります。年に2、3回、小さい川は町内の大人の人たちにきれいにしてもらっています。僕も釣り糸などがあれば、家に持って帰るようにしています。

ですが、十禅寺川は広い河川なので個人で掃除をすることが難しいです。

そこで提案ですが、市の方々がブルドーザーなどの機械できれいにしてもらいたいです。きれいになった河川を二度と汚さないために、小学校で河川の大切さを伝える授業をしていただきたいです。きれいな十禅寺川で泳いだりすることができて、30年前の十禅寺川よりもきれいな十禅寺川にみんなの力でしたいと思います。

草津市のお考えを教えてください。

以上で、私の質問を終わります。

議長（三崎輝史）

それでは、ただいまの18番、芝田議員の質問に対して答弁を求めます。

橋川市長。

市長（橋川 渉）

河川をきれいにする御提案にお答えします。

芝田議員の住んでおられる矢橋町を流れる十禅寺川の水質は、滋賀県が実施している検査によりますと、以前に比べては少しずつよくなっています。

これは、下水道が整備されて、生活から出る排水が川に流されなくなったことなどの成果だと考えられます。

川が汚くなったと感じるのは、川底に土がたまっていて、そこに生えている草木や不法投棄されたごみが原因だと思われます。

十禅寺川をきれいにするために、十禅寺川に流れ込む水路の清掃や草刈りを町内会などで実施しておられます。

また、ごみのポイ捨てをしないように、看板を立てたり、不法投棄されたごみを拾ったりするなど、県と市と町内会の方々が一緒になって川の周りをきれいにする活動をしています。

それと、川底にたまった土を機械を使ってきれいに掃除をしてはどうかという御提案についてお答えします。

十禅寺川などの大きな川は、草津市ではなくて滋賀県が管理をしています。

草津市は毎年、滋賀県に対して、市内の河

川にたまった土をとり、草木を刈ってほしいと強く要望をしています。しかし、県内にはこうした河川が全体で509あります。県では、一度には全ての河川について機械による清掃ができないために、土のたまり方が多い河川から順番に実施をしています。

草津市においては、いつまでもきれいな川であるように願い、これからも県にも要望し、また県と市と町内会の方々が一緒になって美化活動などに取り組んでいきたいと考えています。

議長（三崎輝史）

以上で、芝田議員の質問に対する答弁を終わりますが、芝田議員よろしいでしょうか。

18番（芝田 智）

ありがとうございました。

議長（三崎輝史）

これにて18番、老上小学校、芝田智議員の質問を終わります。

次に、19番、笠縫小学校、西山愛華議員。

19番（西山愛華）

笠縫小学校、西山愛華です。

ただいま議長から発言の許可をいただきましたので、よろしくをお願いします。

私が草津市に提案することは、「びわ湖感謝の日」をつくることです。

私は、日ごろからとても琵琶湖にお世話になっています。私たちがこうしてきれいな水を使えることも、おいしい魚や貝を食べられていることも、全て琵琶湖のおかげです。

しかし、最近は琵琶湖の水が年々汚くなってきています。また、外来魚によって琵琶湖の固有種が食べられ、減少しています。あと、琵琶湖へのごみのポイ捨てなども原因の一つです。

そこで、私は「びわ湖感謝の日」をつくり、琵琶湖のクリーン活動や外来魚釣りコンテストなどをしたらいいと思います。

ほかにも、誰でも参加できる琵琶湖クイズ大会を開いたらいいと思います。

このように、私は琵琶湖に感謝をしたり、身近に感じてもらえるように、「びわ湖感謝の日」を草津市に提案します。

以上で、私の質問を終わります。

議長（三崎輝史）

それでは、ただいまの19番、西山議員の質問に対して答弁を求めます。

橋川市長。

市長（橋川 渉）

琵琶湖の環境についての御質問にお答えします。

「びわ湖感謝の日」をつくるというのは、すばらしい提案だと思います。

現在、滋賀県では、名前は違いますが、7月1日を「びわ湖の日」と定めています。

これは今から40年ほど前、琵琶湖の汚れが問題となり、リンを含む合成洗剤の使用をやめて、粉石けんを使おうという呼びかけをした、いわゆる「石けん運動」が発端となっ

ています。汚れの原因である窒素やリンという成分を琵琶湖に流さないことを定めた「琵琶湖条例」の施行を記念して、7月1日を「びわ湖の日」と制定をしています。

現在では、この日を中心に企業や市民が参加して、琵琶湖の清掃活動が行われていますし、草津市では、「草津水産まつり」において外来魚の駆除の釣り大会を行っています。

このように滋賀県や市、漁業組合などが呼びかけて県内各地で同じようなイベントが開催され、琵琶湖を大切にする、感謝をする取り組みが広がってきています。

琵琶湖は近畿地方に住む1,400万人の暮らしを支える水源でありますし、またそこに生息するホンモロコやニゴロブナなどの琵琶湖の貴重な固有種を育むなど、大変大きな役割を持っています。

西山議員の御提案のとおり、このことにひとり一人が気づき、琵琶湖に感謝し、琵琶湖を守ろうとする思いを持つことが大切です。一緒に琵琶湖を守っていきましょう。

議長（三崎輝史）

以上で、西山議員の質問に対する答弁を終わりますが、西山議員よろしいでしょうか。

19番（西山愛華）

ありがとうございました。

議長（三崎輝史）

これにて19番、笠縫小学校、西山愛華議員の質問を終わります。

次に、20番、笠縫東小学校、岡田悠一郎

議員。

20番（岡田悠一郎）

笠縫東小学校、岡田悠一郎です。

ただいま議長から発言の許可をいただきましたので、よろしくお願いします。

僕の小学校では、1年生から6年生まで近くを流れる葉山川の学習をしています。

草花や虫の観察から始まり、魚調べや清掃活動など、いろいろな取り組みをしています。

その活動を通して感じたことは、僕たちの身近にはまだ自然が残っていて、その自然が貴重だということです。

皆さんは、葉山川に蛍がいることを知っていますか。

僕は、ことしの6月にも蛍を見に行きました。

蛍はきれいな水辺にしか生息することができません。でも葉山川を通ると、ごみが捨てられているのを見かけます。大切な自然、大切な学習の場です。そして、その葉山川は琵琶湖へとつながっています。

僕は、草津じゅうのみんながもっと自然を大切に、未来へ残していけるように伝えていきたいです。

そのために、自分でも清掃活動などの行動を起こし、自然を大切にすまちにしたいです。

以上で、私の質問を終わります。

議長（三崎輝史）

それでは、ただいまの20番、岡田議員の

質問に対して答弁を求めます。

橋川市長。

市長（橋川 渉）

琵琶湖につながる川に蛍が住めるほど、みんなで自然を大切にしようという御質問にお答えします。

岡田議員が学習されている葉山川に蛍がいるということは、水がきれいでカワニナがいて、岸部には植物が生えているといった蛍の生育の環境が整った自然豊かな場所である証拠です。

草津じゅうのみんながもっと自然を大切に残していけるように伝えていきたいという思いは、すばらしい考えだと思います。

では、どうしたら自然を残していけるのでしょうか。

岡田議員は、葉山川の自然について学習する中で、自然が貴重だと感じられたとのことですが、市ではより多くの市民の皆さんに、地域にはすばらしい自然が残っていることを知っていただきたいと考えています。

このため、市全体の中で鳥やセミなど、身近な生き物の数を調べて報告してもらおう「生き物調査」という取り組みをしています。

また、学校や地域で身近な自然環境を使った環境学習を進めていて、笠縫東小学校のほか、常盤小学校では、地域の方々と一緒にヨシ刈りや琵琶湖に来る鳥を観察したり、渋川小学校では、地域の生き物を調べ、それを大きな絵にするなどしていますし、企業の方々

と市が一緒になって、地元の身近な川で生き物や水質の調査を行うこともして、環境学習の輪が市内全体に今広がっています。

このような取り組みの輪をさらに広げていって、身近な川が大切な場所になれば、そこへごみを捨てる人もいなくなるでしょうし、地域の自然を大切にしたい、残したいと思う人をふやしていくことができると考えていますので、一緒に取り組んでいきましょう。

議長（三崎輝史）

以上で、岡田議員の質問に対する答弁を終わりますが、岡田議員よろしいでしょうか。

20番（岡田悠一郎）

ありがとうございました。

議長（三崎輝史）

これにて20番、笠縫東小学校、岡田悠一郎議員の質問を終わります。

次に、21番、草津小学校、松永咲穂議員。

21番（松永咲穂）

草津小学校、松永咲穂です。

ただいま議長から発言の許可をいただいたので、よろしくをお願いします。

草津小学校、松永咲穂。私は水の安心・安全について質問したいと思います。

6月26日、大雨が降りました。その雨で隣の大津市の水道管が破裂しました。その影響で水が濁ったり、水圧が下がるなどの影響がありました。「それは、水道管の老朽化が進んでいたからだ」と大津市の市長が言っていました。

もし、この濁った水を子どもが誤って飲んでしまったら危険だと思います。

また、以前、兵庫県で高校生が夜に貯水タンクに侵入して遊んでいたという事件がありました。その水は、住民に配られる水でした。なので、手あかなどが入っていると安全面にも影響があると思います。

ですから、草津市ではこのようなことが起こらないようにしてほしいです。

以上で、私の質問を終わります。

議長（三崎輝史）

それでは、ただいまの21番、松永議員の質問に対して答弁を求めます。

橋川市長。

市長（橋川 渉）

水についての御質問にお答えします。

まず一点目の水道管の安全対策についてお答えします。

6月下旬に大津市で水道管の破裂がありましたが、これは水道管の老朽化によるものです。49年前に埋められた直径50センチメートルの鉄製の水道管に穴があいて、水漏れが起こり、この修理作業のため、断水して水圧が下がり、水の濁りが発生しました。

草津市でも、つくってから40年を超える古い水道管が約18キロメートルあります。40年がたったからといって、すぐに破裂するものではありませんが、より安全に水を送るため、水道管の状態を確認しながら計画を立てて、草津市では順番に新しい水道管と交

換をしています。

交換する水道管については、長い期間使えるもので、地震に強い水道管を採用しています。

次に2点目の貯水タンクの安全対策についての御質問にお答えします。

草津市の貯水タンクは、全部で6基あります。毎日パトロールをしています。常に人がついているわけではありません。そのため、貯水タンクの鉄のふたには、鍵のほかに、特殊な方法で固定をして、簡単にはふたが開かないようにしています。また、タンクの周りを高いフェンスで囲んだりするなど、二重三重の侵入防止対策を行っていますので、兵庫県の事件のように、人が入るといったことができないようにしています。

今後も、皆さんに安全でおいしく飲める水をお届けできるように頑張っていきます。

議長（三崎輝史）

以上で、松永議員の質問に対する答弁を終わりますが、松永議員よろしいでしょうか。

21番（松永咲穂）

ありがとうございました。

議長（三崎輝史）

これにて21番、草津小学校、松永咲穂議員の質問を終わります。

次に、22番、矢倉小学校、中村真悠議員。

22番（中村真悠）

矢倉小学校、中村真悠です。

ただいま議長から発言の許可をいただきま

したので、よろしくお願いします。

「草津市の安全について」小学生が事件に巻き込まれる悲しいニュースが毎日のように流れています。地域やPTAの方々、先生たちは私たちが事件や事故に巻き込まれないように、登下校のときなどに私たちを見守ってくださいています。私たちも学校でスマホやインターネットの危険について学んだり、危険な場所を一緒に考えたりしています。まちで知らない人から「こんにちは」と挨拶されただけでも「不審者かも」と考えるほどです。

周りに人たちのことを私たちは信じられなくなっているような気がします。

私たちは、学校で4年生のときに、矢倉の記憶絵の学習をしました。そのときに「昔は子どもたちが川や空き地で伸び伸びと安心して遊んでいた」と聞きました。

安全・安心な草津市になるためには、危険から身を守ることと、みんなが信じ合えることの両方が大切だと思いますが、いかがでしょうか。

そのために、草津市や私たちができることを教えてください。

以上で、私の質問を終わります。

議長（三崎輝史）

それでは、ただいまの22番、中村議員の質問に対して答弁を求めます。

橋川市長。

市長（橋川 渉）

「みんなでつくろう安全・安心なまち草

津」についての御質問にお答えします。

安全・安心な草津市にするためには、中村議員がお話されたように、危険から身を守ることと、みんなが信じ合えることの両方が大切だと思います。

皆さんは、危険から身を守るために、どのようにして不審者を見分けようとしていますか。

先ほど、周囲の人たちを信じられなくなっているとお話されたように、不審者を見分けることは、実はとても難しいことです。

しかし、皆さんは、危険な場所を見分けることはできます。

例えば、高い塀や木が茂っている場所は周りから見えにくいので、不審者から狙われやすい場所と言われています。ふだんからそのような危険な場所に注意し、一人で近づかないようにすることが大切だと思います。

また、登下校の見守りなど、地域には皆さんのことを守ってくださる方々がたくさんいらっしゃいます。その方々と日ごろから挨拶をしたり、地域の行事に積極的に参加し、お互いが顔を覚えて、信頼関係を深めておくことも大切です。

市ができることとしては、警察や地域の方々と協力して子どもたちの見守り活動を行ったり、危険な場所をまとめた防犯マップを作成したりしています。

このような取り組みをさらに進めていきたいと思っています。

お互いに信じ合える安全・安心な草津市にするために、みずから危険な場所に注意を払い、地域の方々と日ごろからのきずなを深めることが大切なことと考えています。  
議長（三崎輝史）

以上で、中村議員の質問に対する答弁を終わりますが、中村議員よろしいでしょうか。

22番（中村真悠）

ありがとうございました。

議長（三崎輝史）

これにて22番、矢倉小学校、中村真悠議員の質問を終わります。

次に、23番、南笠東小学校、揚村彩乃議員。

23番（揚村彩乃）

南笠東小学校、揚村彩乃です。

ただいま議長から発言の許可をいただきましたので、よろしく申し上げます。

「道路の整備について」私は草津市が好きです。みんなでサッカー、ドッチボール、テニス、バドミントンなどをして遊べるふれあい広場など、南笠東小学校の学区には、公園がたくさんあるので、子どもたちはとても喜んでいきます。

しかし、子どもたちの通る道は必ずしも安全ではありません。学校への行き帰りでも、危険を感じる場合があります。

そこで学校の児童が安心して通れるちゃんとした歩道をつくってほしいです。

塾に行き来する子どもの中には、暗い時間

に帰る子どもも少なくないと思います。細い道は大変危険で、安心して塾に行かせられないお母さん、お父さんも多いかと思います。車を運転する人も、自転車に乗る人も、歩く人も、みんなが安心して通れる道にしてください。それが事故を防げるかもしれません。道を整備することで、まちがより安全に、より安心して暮らせる場所になると思います。

市長のお考えをお聞かせください。

以上で、私の質問を終わります。

議長（三崎輝史）

それでは、ただいまの23番、揚村議員の質問に対して答弁を求めます。

橋川市長。

市長（橋川 渉）

道路の整備についての御質問にお答えします。

現在、草津市では、都市計画道路という大きい道路をつくる工事や町内の狭い道路の幅を広げたり、歩道をつくるなど、たくさんの工事をしています。

また、皆さんが通学路として利用している道路のうち、歩道がすぐにつくれないところには、カラー舗装という道路の一部に緑色を塗っている工事もしています。これによって、歩行者が通る場所であることを車のドライバーにわかってもらうようにしています。

市内全体では、このようにたくさんの工事をされていて、皆さんが少しでも安全に通行していただけるような取り組みを行っています。

しかし、まだまだ道路や歩道の整備を進める必要のある箇所がたくさんあります。

道路や歩道を新しくつくったり、広げたりするためには、道路となる場所の土地を買い取ったり、家の移転をお願いしたりする必要があるので、すぐに整備ができない現状があります。

こうした整備には時間がかかりますが、市民の皆さんの声を聞きながら、少しでも早く安心して通れる道路をふやしていけるように頑張っていきます。

議長（三崎輝史）

以上で、揚村議員の質問に対する答弁を終わりますが、揚村議員よろしいでしょうか。

23番（揚村彩乃）

ありがとうございました。

議長（三崎輝史）

これにて23番、南笠東小学校、揚村彩乃議員の質問を終わります。

次に、24番、渋川小学校、三露蓮太郎議員。

24番（三露蓮太郎）

渋川小学校、三露蓮太郎です。

ただいま議長から発言の許可をいただきましたので、よろしくをお願いします。

皆さんは、食物アレルギーについて考えたことはありますか。近年、何らかのアレルギーを持つ子どもは、4人に1人の割合だと言われています。また、10人に1人は食物アレルギーです。

食物アレルギーで苦しんでいる人がたくさんいます。僕も卵アレルギーで、自分だけ食べられなくて何度も辛い目にあっています。

例えば、給食で卵料理が出たときには食べられません。メニューが一品少ないので、みんなは僕のみ、ほかのおかずをふやしてくれますが、少し申しわけない気持ちになります。

そこで、草津市には、食物アレルギーへの対応をしっかりとしてほしいです。

一つ目は、いつもおいしい給食をつくってくださっている学校給食センターにアレルゲン除去食をつくってもらいたいです。

二つ目は、市内の飲食店のアレルギー表示を義務づける条例をつくってもらいたいです。

食物アレルギーで苦しむ子どもたちが安心して食事できるように、どうぞよろしくをお願いします。

以上で、私の質問を終わります。

議長（三崎輝史）

それでは、ただいまの24番、三露議員の質問に対して答弁を求めます。

橋川市長。

市長（橋川 渉）

アレルギーへの対策、条例の制定についての御質問にお答えします。

三露議員も卵アレルギーで何度もつらい思いをしてこられたとお聞きしました。同じように悩まれている方は、多くおられます。

アレルギーを引き起こすアレルゲンという

物質を食品の表示の中であることをアレルギー表示といいます。食品衛生法という国の法律がありますが、その中では、包装された全ての加工食品、これはお菓子とか、練り製品とか、冷凍食品などですけれども、これらに対して小麦・卵・乳・そば・落花生・エビ・カニの7品目のアレルギー表示が義務づけられています。

また、リンゴ、大豆、牛肉、さけなどを初めとする20品目についてもアレルギー表示するように勧められています。

しかしながら、飲食店でのアレルギー表示は義務づけられておりません。

その理由は、もし全ての飲食店がアレルギー表示をする場合、使う材料やメニューが変わるたびに表示を変えなければならなくなり、お店の負担が大きくなるからと言われています。

しかし、最近では、ファミリーレストランがメニューのアレルギーチェックができるよう、携帯電話やパソコンを使って食品に入っているものが見られるサービスを行うなど、飲食店側が自主的に表示するところもあり、今後もこういったサービスが広がればと考えています。

食物アレルギーのある方にとっては、アレルギー表示は非常に大切な情報です。三露議員が望んでおられる飲食店にアレルギー表示をしてもらう条例についてですが、これは草津市だけで条例をつくる場合は、草津市だけ

にしかその条例の適用がありません。ということでもありますので、アレルギー表示については、やはり全国的な対策が必要だと考えています。現在、国では、アレルギー表示を適切に行えるよう検討会をつくり、検討が進められていますので、アレルギー表示が全国的に広がることを市からも要望していきたいと思っております。

議長（三崎輝史）

川那邊教育長。

教育長（川那邊 正）

次に、2点目の学校給食センターでのアレルギー除去食の実施についての御提案にお答えします。

三露議員からいただきました御提案のアレルギー対応食の実施につきましては、これまでも検討を重ねておりますが、難しい状況にあります。

主な理由は、1日に8,200人もの給食をつくっているのですが、アレルギー対応食を皆さんにお届けするには、材料の調達から調理、配送、そして学校での管理など、安全のために必要となり、またアレルギーの種類も多く、何種類ものアレルギー対応食をつくらなければならないからです。

さらに、万が一、食物アレルギーの原因になる食べ物が間違っ配られたりすると、命にかかわる大きな事故につながる事が考えられるからです。

しかしながら、現在、学校給食センターで

は、一人でも多くの子どもたちが給食を食べられるよう、食物アレルギーに対応するために給食の献立の工夫をしています。

その一つとしては、食物アレルギーの原因になるおかずをなるべく2品以内にするように考えています。また、食物アレルギーの原因になる材料は、できるだけ少なくしています。

これからも小学生の皆さんの安全を最優先としながら、アレルギー情報をおうちの人と学校とで共有し、安心して給食が食べられるように引き続き努力し、取り組んでいきたいと考えています。

議長（三崎輝史）

以上で、三露議員の質問に対する答弁を終わりますが、三露議員よろしいでしょうか。

24番（三露蓮太郎）

ありがとうございました。

議長（三崎輝史）

これにて24番、渋川小学校、三露蓮太郎議員の質問を終わります。

次に、25番、老上小学校、村地愛祈議員。

25番（村地愛祈）

老上小学校、村地愛祈です。

ただいま議長から発言の許可をいただきましたので、よろしくをお願いします。

毎日生活している中で、よく道路にごみが落ちています。それを見ると「なぜ外に捨てるのか」と思います。家だったらごみ箱があるのでそこに捨てますが、外にはいつもごみ

箱があるわけではないので、そのまま道に捨てると、みんなが気持ちよく過ごせないと思います。そこで、みんなが気持ちよく過ごせるまちづくりを進めるために2つの提案をします。

一つ目は、人がたくさん来る駅やスーパーなどに、「ごみゼロ」を呼びかけるポスターを張ったり、草津市の小学校に「ごみだより」を配ったりすればよいと思います。

二つ目は、琵琶湖一斉清掃のように一年に1回、草津市か滋賀県で道路を中心に、まちの掃除の日をつくれればよいと思います。

この2つのことをすれば、今よりごみが少なくなり、気持ちよく過ごせると思います。

このことについて草津市のお考えをお尋ねします。

以上で、私の質問を終わります。

議長（三崎輝史）

それでは、ただいまの25番、村地議員の質問に対して答弁を求めます。

橋川市長。

市長（橋川 渉）

みんなが気持ちよく過ごせるまちづくりについての御質問にお答えします。

まず一つ目の「ごみゼロ」を呼びかけるポスターや「ごみだより」についての御提案にお答えします。

ごみを捨てないように注意を呼びかけるポスター、チラシの作成やごみが捨てられることの多い場所に注意を促す看板を設置するこ

とは、とても有効なことだと考えています。  
必要な場所には、今も看板を設置し、これからもまた設置をふやしていきたいと思っています。

草津市ではごみ問題について熱心に考えていただいている市民が集まった「ごみ問題を考える草津市民会議」という団体があります。その活動の一つとして、ごみ問題を取りあげた広報誌を毎年発行をしています。

今後は、小学生の皆さんにも読みやすい内容の広報誌「ごみだより」を発行し、配布することをこの団体に提案をしていきます。

次に2つ目の掃除の日についての御提案にお答えします。

草津市では、町内会や住民の皆さん、ごみ問題を考える草津市民会議の皆さんと草津市が一緒になって、まちのさまざまなところに捨てられているごみの清掃をする、市内一斉清掃の日を今も定めています。

ことしは11月30日の日曜日に行われる予定で、皆さんの御近所でも、その清掃活動がされると思います。

さらに、ごみゼロを目指し、ごみのポイ捨て防止について市民の皆さんに幅広く関心を持っていただくため「ポイ捨て防止市民行動の日」も定め、毎年、駅周辺や道路などでまちの清掃をしながら、ポイ捨てを禁止する呼びかけも行っています。

これからも市民の皆さんが気持ちよく暮らせるようにしていきたいと考えていますので、

議員に皆さんも御協力をお願いします。

議長（三崎輝史）

以上で、村地議員の質問に対する答弁を終わりますが、村地議員よろしいでしょうか。

25番（村地愛祈）

ありがとうございました。

議長（三崎輝史）

これにて25番、老上小学校、村地愛祈議員の質問を終わります。

次に、26番、玉川小学校、福井岳議員。

26番（福井 岳）

玉川小学校、福井岳です。

ただいま議長から発言の許可をいただきましたので、よろしくをお願いします。

僕の通学路には、南草津駅があります。駅周辺での喫煙は禁止されていますが、駅周辺でたばこを吸っている人やたばこに火をつけている人をたくさん見かけます。

また、駅のすぐ横に喫煙スペースがありますが、上からも横からも煙が出る状態なので余り意味がありません。

公園内での喫煙にも、とても困っています。公園は、大人がたばこを吸うところではなく、子どもが遊具で遊んだり、砂遊びをしたりするところです。

それなのに平気でたばこを吸い、その吸い殻を地面に捨てて踏みつけていく人もいます。

これらのことは、美しいまちでありたいと願っている人や健康を大切に考えている人たちにとっては、とても迷惑な行為です。

草津の美化と人々の健康を守るために、もっとしっかり取り締まるべきだと思います。

例えば、喫煙スペースを箱型にする。公園内での喫煙や歩きタバコ、ポイ捨てを罰金にするなど、喫煙に対する取り締まりをもっと厳しくしてはどうでしょうか。

以上で、私の質問を終わります。

議長（三崎輝史）

それでは、ただいまの26番、福井議員の質問に対して答弁を求めます。

橋川市長。

市長（橋川 渉）

喫煙についての御質問にお答えします。

草津市では平成20年に「草津市路上喫煙の防止に関する条例」という決まりをつくり、駅前や道路・公園など多くの皆さんが利用する場所では、タバコを吸わないようにすることで、健康で楽しく安心して皆さんが生活できるように取り組んでいます。

特に、草津駅前と南草津前は人も多く、他の人が吸っているタバコの煙を吸ってしまうということもあることから、2つの駅前をタバコを吸ってはいけない場所に決め、吸っている人に「ここでは吸ってはいけません」との注意の表示や呼びかけなどの見回りも一日2回行っています。

また、タバコを吸う人にマナーを守っていただくために、2つの駅前の東口と西口に、それぞれ1カ所ずつ樹木で仕切ったタバコが吸える場所をつくりました。この喫煙スペー

スを箱型にしてはという福井議員の御意見は、これまで考えてきましたけれども、その場所が夜も個室となり、人が集まって騒いだり、落書きなどの悪さをするたまり場になる恐れがあるということから、今のような形としています。

また、公園内でタバコを吸う人やマナーの悪い人から罰金をとることについては、24時間監視する多くの人が必要なことなど難しい問題があり、今後十分に検討する必要があるなど考えています。

しかしながら、歩きタバコやタバコのポイ捨ては決して許されないことです。タバコを吸う人のひとり一人が周りの人たちに迷惑をかけないようにマナーを守るようにすることが最も大切です。

草津市内から路上喫煙やポイ捨てをする人が一人もいなくなるよう、市民の皆さんに呼びかけて、安心して暮らせる美しい草津を目指して、先ほどの御提案も今後さらに検討して、美しい草津を目指して頑張っていきたいと思います。

議長（三崎輝史）

以上で、福井議員の質問に対する答弁を終わりますが、福井議員よろしいでしょうか。

26番（福井 岳）

ありがとうございました。

議長（三崎輝史）

これにて26番、玉川小学校、福井岳議員の質問を終わります。

以上で、提出のあった質問書による一般質問は全部終了しました。

これにて一般質問を終結します。

以上で、本日の議事日程は全て終了しました。

閉会に際しまして、橋川草津市長から御挨拶をいただきます。

橋川市長、よろしく願います。

市長（橋川 渉）登壇

ただいま議長より発言の許可をいただきましたので、閉会に当たりまして一言御挨拶を申し上げます。

皆さん、初めての経験、緊張をされましたか。私のほうも緊張しました。子ども議員の皆さんの堂々とした質問ぶりや、初めてとは思えないほど立派に議会を進めてこられたことを大変頼もしく思っています。

そして、素晴らしい御意見や御提案をお聞かせいただき、本当にありがとうございました。

皆さんには、きょうの経験を学校や家庭で話し合っただき、草津のまちづくりにこれからも大いに感心を持っていただき、皆さんと話し合い、いろんな提案をしていっていただきたいなと思います。

さて、草津市は、人口がふえ続け、特に子どもが多い、そういった活気にあふれたまちです。そして、たくさんの自然も残されています。これらを大切にしながら、未来へ夢と希望を描くことができるまちだと思います。

子ども議員の皆さんには、草津市が子どもも大人も元気に活躍できるまち、住んでよかったと思えるまち、美しいまち、すばらしいまちになっていくよう、一緒にこれからも頑張っていきましょう。

皆さんには、将来の草津のまちを担う主役として活躍していただくことを期待しています。きょうはどうもありがとうございました。  
議長（三崎輝史）

橋川市長、ありがとうございました。

子ども議員の皆さん、執行部席にお座りの皆さん、御起立ください。

<全 員 起 立>

本日の子ども議会は、私たち議員にとりまして大変貴重な経験であり、草津市市制60周年を迎えるに当たってのすばらしい思い出となりました。答弁をいただいた橋川市長や川那邊教育長、棚橋議長を始め、本日ここに御参加いただいた皆さん、また運営に携わっていただいた皆さん、どうもありがとうございました。

これをもって草津市市制60周年関連事業「子ども議会」を閉会します。

皆さん、お疲れさまでした。

閉会 午後 4時28分

---

草津市議会会議規則第 8 8 条の規定の準用  
により、下記に署名する。

平成 2 6 年 1 0 月 1 8 日

子ども議会議長            三 露 蓮太郎

子ども議会議長            三 崎 輝 史

署 名 議 員            奥 村 究

署 名 議 員            福 井 岳